

しかんせいまひ 「急性弛緩性麻痺」ってなあに？



あまり聞きなれない名前の病気だと思いますが、ウイルスなど種々の病原体の感染により弛緩性の運動麻痺がおこる感染症です。2014年にアメリカでは感染拡大がみられ、翌年2015年には国内でも感染報告数が増加し、そのうち59例の調査で、約80%は麻痺の後遺症を残しました。また病気の原因と推測されているのがエンテロウイルスD68(EV-D68)と言われております。今回は「急性弛緩麻痺」についてお話します。

Q1.「急性弛緩性麻痺」とはどのような病気？

急に手足の筋肉に力が入らなくなり動かせなくなる病気の総称です。以前は子どもで急性弛緩性麻痺を起こす代表的なウイルスはポリオでしたが、現在日本でポリオは根絶されています。最近新たに「エンテロウイルスD68」がこの病気の原因の1つではないかと疑われています。

Q2.原因となるエンテロウイルスとは？

一般的にはあまり知られてないウイルスの名前ですが、エンテロウイルスには多くの種類があるため、それをまとめてエンテロウイルス属と呼んでいます。代表的なものでは、子どもの夏風邪のひとつ「手足口病」「ヘルパンギーナ」もエンテロウイルスによる感染症ですが、これらは発疹、下痢を伴う場合が多く今回の「EV-D68」とは型が少し異なります。思ったより身近なウイルスのひとつなのです。

Q3.感染すると、どんな症状がでるの？

最初は熱や咳、鼻水、くしゃみ、体や筋肉の痛みなどの症状から始まるので、風邪やインフルエンザが疑われますが、そのうち喘息の様な咳をするようになり、呼吸困難をきたす重度の肺炎を含むさまざまな呼吸器疾患を起こします。小さなお子さんや気管支喘息のあるお子さんは注意が必要です。

麻痺は3~5日経ってから起きることが多いです。急に手足に力が入らなくなり、多くは2日以内に麻痺のピークを迎えます。麻痺の出方は片腕だけのこともあれば両足のこともあり様々です。まずは、手足の一部でも動かしにくいということがあれば病院を受診しましょう。

Q4.治療法は？

今のところ有効なワクチンや治療法はありません。症状に応じた対症療法、症状を緩和する投薬となります。

Q5.どのようにしてうつるの？

咳やくしゃみの飛沫感染や、ウイルスがついた手が口や鼻に接触することで感染します。感染の多くは小児で、成人は感染しても症状が軽いかなことが多いです。

Q6.予防法は？

通常の呼吸器感染、インフルエンザなどの対策と同じで、マスクなどの飛沫感染予防や手洗いなどの接触感染予防が中心になります。エンテロウイルスD68はアルコールには比較的強いウイルスなので、次亜塩素酸の消毒の方が有効です。

国内でのエンテロウイルスD68 発生者数 (2010~2015)

